

令和3年度

穴吹中学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業改革
- ICT等を利用した個別最適化の学習

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員 佐藤 美幸	委員 校長 濱田 雅子 教頭 櫻間 宇山 教務 雅子 伸章 壮史	1年担任 河見 弘明 2年担任 藤本 修嗣
------------------	-------------------------------------------	--------------------------

校長

濱田 雅子

【各校の取組状況の把握について】

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○基礎・基本的なことについての学習には、学びの意欲が見られる。 ●自分の考えをまとめたり、表現したりすることができるようになったが、まだ苦手とする生徒がいる。 ●定着に個人差が大きく、基礎学力の二極化が見られる。	・授業ごとに学んだことや考えたことを表現することができる。 ・基礎的・基本的な知識・技能を身につけることができる。	・タブレットの効果的な活用 ・朝の自主学習の時間に基礎・基本の学習ができるような工夫。 ・毎時間授業の最後の5分間の振り返りをねらいに沿った振り返りになるような問いかけ。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○ファシリテーションの技術が身につく始め、話し合いを深めながら進める力がついてきている。 ●課題に応じて、自分の考えをまとめたり、新しい考えを想像することに課題がある。	・ファシリテーションの技術をさらに磨き、自分の考えを話したり、書いたりすることができる。 ・目的に応じて、根拠や理由を明らかにしながら、話したりかいたりすることができる。	・ホワイトボードミーティング®の機会を増やす。 ・授業の中で中心発問を磨く。(考えさせる発問をする) ・ノイズの少ない説明を心がける。 ・「気軽な授業研究会」の開催。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○授業に取り組む態度が良くなってきた。 ●自分で課題を見つけ取り組むことができていない。	・自分の課題を見つけ、その解決に向けて、自ら調べたり、学び合ったりしながら主体的に取り組むことができる。	・個に応じた指導とアドバイスを行う。 ・生徒同士のオンライン・オフライン両面での学び合いの場を作る。 ・授業、家庭をつなげる家庭学習を工夫する。			

令和3年度 学力向上ロードマップ

